

Ⅱ. 履修要項

修士課程(臨床検査学専攻)

■ 令和5年度 大学院医療技術科学研究科 臨床検査学専攻 修士課程 教務日程

	日 月 火 水 木 金 土							学事内容		大学行事等
								第1学年	第2学年	
4							1	<ul style="list-style-type: none"> ・新生ガイダンス 4/7(金) ・前期授業開始 4/10(月)～ ・履修届提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・M2ガイダンス ・前期授業開始 ・履修変更届提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学式 4/9(日)
	2	3	4	5	6	7	8			
	9	10	11	12	13	14	15			
	16	17	18	19	20	21	22			
	23	24	25	26	27	28	29			
30										
5		1	2	3	4	5	6			<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断 5/12(金):札幌あいの里キャンパス ・春期交通安全講習会 5/19(金)
	7	8	9	10	11	12	13			
	14	15	16	17	18	19	20			
	21	22	23	24	25	26	27			
	28	29	30	31						
6					1	2	3			<ul style="list-style-type: none"> ・大学祭 6/16(金)～18(日) (大学祭振替休日 6/19(月))
	4	5	6	7	8	9	10			
	11	12	13	14	15	16	17			
	18	19	20	21	22	23	24			
	25	26	27	28	29	30				
7							1	<ul style="list-style-type: none"> ・前期授業終了 7/28(金) ・夏季休業 7/31(土)～9/1(金) 		<ul style="list-style-type: none"> ・アルバータ大学語学研修 7/29(日)～8/18(金)
	2	3	4	5	6	7	8			
	9	10	11	12	13	14	15			
	16	17	18	19	20	21	22			
	23	24	25	26	27	28	29			
30	31									
8			1	2	3	4	5		<ul style="list-style-type: none"> ・中間報告会 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学休業日 8/10(木)～16(水)
	6	7	8	9	10	11	12			
	13	14	15	16	17	18	19			
	20	21	22	23	24	25	26			
	27	28	29	30	31					
9							1	<ul style="list-style-type: none"> ・後期授業開始 9/4(月)～ 		<ul style="list-style-type: none"> 秋期学位記授与式 9月中旬
	3	4	5	6	7	8	9			
	10	11	12	13	14	15	16			
	17	18	19	20	21	22	23			
	24	25	26	27	28	29	30			
10	1	2	3	4	5	6	7			<ul style="list-style-type: none"> ・創立記念日 10/10(火) ・後援会地区別懇談会 10/1(日)～11/5(日)
	8	9	10	11	12	13	14			
	15	16	17	18	19	20	21			
	22	23	24	25	26	27	28			
	29	30	31							
11				1	2	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・研究構想発表会 		<ul style="list-style-type: none"> ・秋期交通安全講習会 11/17(金)
	5	6	7	8	9	10	11			
	12	13	14	15	16	17	18			
	19	20	21	22	23	24	25			
	26	27	28	29	30					
12							1	<ul style="list-style-type: none"> ・冬季休業 12/11(月)～1/8(月) 		<ul style="list-style-type: none"> ・大学休業日 12/29(金)～1/5(金)
	3	4	5	6	7	8	9			
	10	11	12	13	14	15	16			
	17	18	19	20	21	22	23			
	24	25	26	27	28	29	30			
31										
1		1	2	3	4	5	6	<ul style="list-style-type: none"> ・後期授業再開 1/9(火)～ 	<ul style="list-style-type: none"> ・修士論文提出 	
	7	8	9	10	11	12	13			
	14	15	16	17	18	19	20			
	21	22	23	24	25	26	27			
	28	29	30	31						
2						1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・後期授業終了 2/16(金) ・修士論文研究計画書提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・修士論文審査 	
	4	5	6	7	8	9	10			
	11	12	13	14	15	16	17			
	18	19	20	21	22	23	24			
	25	26	27	28	29					
3							1	<ul style="list-style-type: none"> ・修士論文研究計画書審査 	<ul style="list-style-type: none"> ・公開最終発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ・学位記・卒業証書授与式(3月中旬)
	3	4	5	6	7	8	9			
	10	11	12	13	14	15	16			
	17	18	19	20	21	22	23			
	24	25	26	27	28	29	30			
31										

※令和6年度修士課程第2学年適用の学事内容の詳細については、あらためてお知らせします。

は、大学休業日・祝祭日・振替休日

■ 令和5年度 大学院医療技術科学研究科 臨床検査学専攻 修士課程 授業科目・担当者

授業科目の名称		配当年次	単位数			授業形態			担当教員	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習		
共通科目	自然科学特論	1・2	2			○			・鈴木准教授・藏満教授・黒澤教授	
	臨床検査管理学特論	1・2	2			○			・遠藤教授・吉田教授・近藤講師	
	臨床検査研究法特論Ⅰ	1	2			○			・松尾教授・高橋祐司講師・山崎講師	
	臨床検査研究法特論Ⅱ	1	2			○			・田中教授・丸川講師・高橋祐輔講師	
	保健医療データサイエンス特論	1・2	2			○			・二瓶教授	
小計(5科目)		—	10			—				
応用特色科目	保健医療管理学特論	1・2		2		○			・幸村教授・近藤講師	
	医療病態学特論	1・2		2		○			・藏満教授・幸村教授	
	医療予防医学特論	1・2		2		○			・丸川講師・田中教授	
	先端医学特論	1・2		2		○			・坊垣教授・高橋祐輔講師	
	医療英語特論	1・2		2		○			・坊垣教授・江本講師	
小計(5科目)		—		10		—				
専門科目	生体情報解析学分野	生体機能解析学特論	1		2		○			・幸村教授
		生体機能解析学演習	1		2			○		・幸村教授
		病態情報解析学特論	1		2		○			・遠藤教授・高橋祐司講師
		病態情報解析学演習	1		2			○		・遠藤教授・高橋祐司講師
		血液病態解析学特論	1		2		○			・田中教授・高橋祐輔講師
		血液病態解析学演習	1		2			○		・田中教授・高橋祐輔講師
		免疫細胞生物学特論	1		2		○			・坊垣教授
		免疫細胞生物学演習	1		2			○		・坊垣教授
		感染生物学特論	1		2		○			・松尾教授・山崎講師
		感染生物学演習	1		2			○		・松尾教授・山崎講師
		遺伝子関連検査学特論	1		2		○			・吉田教授
		遺伝子関連検査学演習	1		2			○		・吉田教授
		分子細胞病理学特論	1		2		○			・丸川講師・近藤講師
		分子細胞病理学演習	1		2			○		・丸川講師・近藤講師
小計(14科目)		—		28		—				
研究指導	生体情報解析学研究	1~2	12				○		・幸村教授・江本講師・遠藤教授・高橋祐司講師 ・田中教授・坊垣教授・高橋祐輔講師 ・松尾教授・山崎講師・吉田教授・丸川講師 ・近藤講師	
	小計(1科目)	—	12			—				
合計(25科目)		—	22	38	0	—				

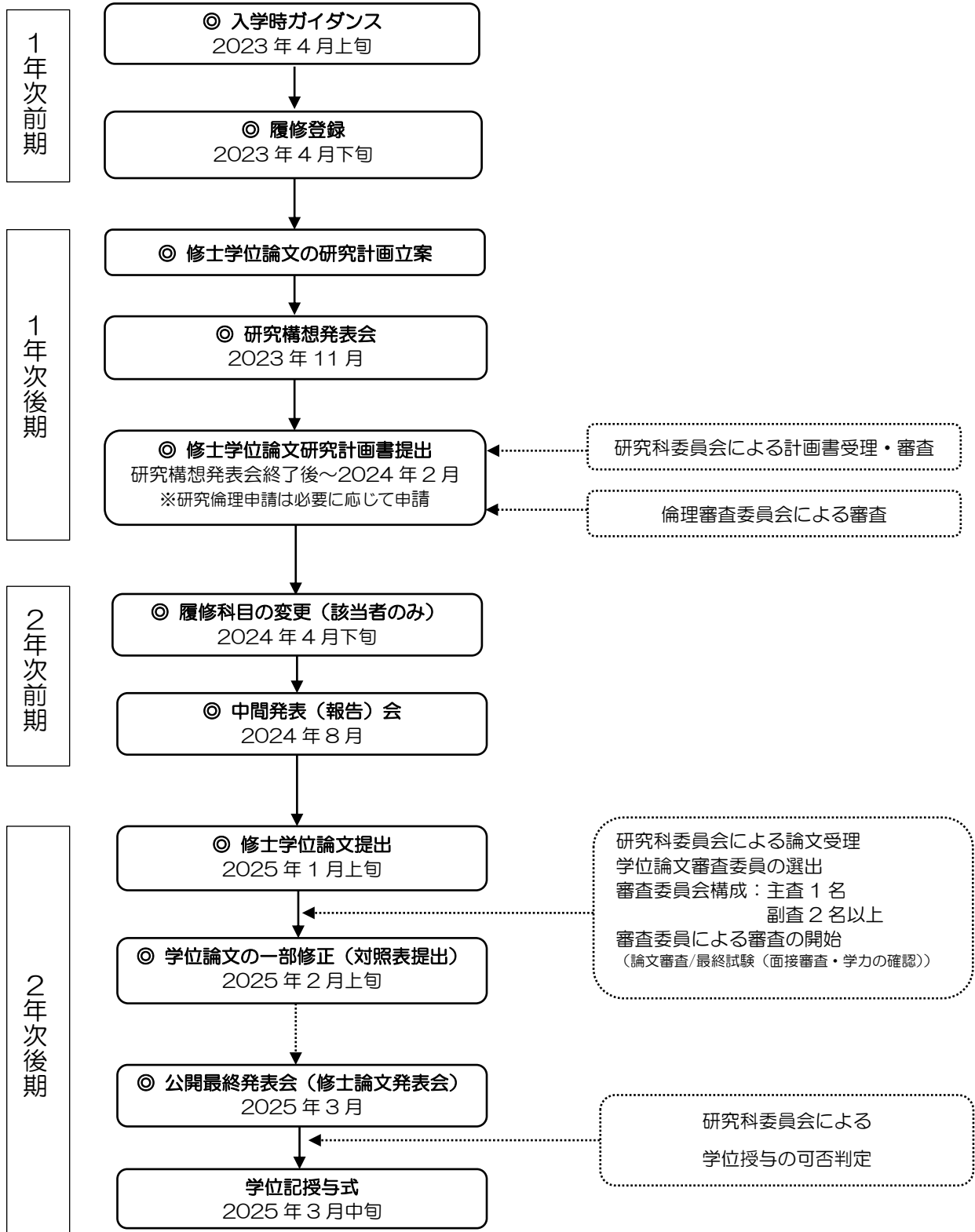
必修科目である「共通科目」(必修10単位)のほか、「応用特色科目」から4単位以上、「専門科目」から4単位以上を履修し、「研究指導」の「生体情報解析学研究(必修12単位)」とあわせて30単位以上を修得すること。
 ※「専門科目」については、7つの専門分野のうち、同じ専門分野である特論と演習を必ず含む4単位以上であること。

医療技術科学研究科 臨床検査学専攻 時間割

曜日	学年	昼間開講					夜間開講	
		I 9:00 ~ 10:20	II 10:30 ~ 11:50	III 12:40 ~ 14:00	IV 14:10 ~ 15:30	V 15:40 ~ 17:00	VI 17:10 ~ 18:30	VII 18:40 ~ 20:00
前期	月	1年		免疫細胞生物学特論 【坊垣】	医療病態学特論 【藏満ほか】	臨床検査研究法特論I 【松尾ほか】		
		2年						
	火	1年	医療予防医学特論 【丸川ほか】					臨床検査研究法特論II 【田中ほか】
		2年						
	水	1年	細胞病理学特論 【丸川ほか】		生体機能解析学特論 【幸村】			血液病態解析学特論 【田中ほか】
		2年						
	木	1年	病態情報解析学特論 【遠藤ほか】 ----- 感染生物学特論 【松尾ほか】					
		2年						
	金	1年		先端医科学特論 【坊垣ほか】	遺伝子関連検査学特論 【吉田】			
		2年						
	後期	月	1年	遺伝子関連検査学演習 【吉田】	医療英語特論 【坊垣ほか】	臨床検査管理学特論 【遠藤ほか】	生体機能解析学演習 【幸村】	
			2年					
火		1年					保健医療 データサイエンス特論 【二瓶】	
		2年						
水		1年	自然科学特論 【鈴木ほか】	細胞病理学演習 【丸川ほか】				
		2年						
木		1年	感染生物学演習 【松尾ほか】					血液病態解析学演習 【田中ほか】
		2年						
金		1年	病態情報解析学演習 【遠藤ほか】	保健医療管理学特論 【幸村ほか】		免疫細胞生物学演習 【坊垣】		
		2年						

1. 修士学位取得までのプロセス

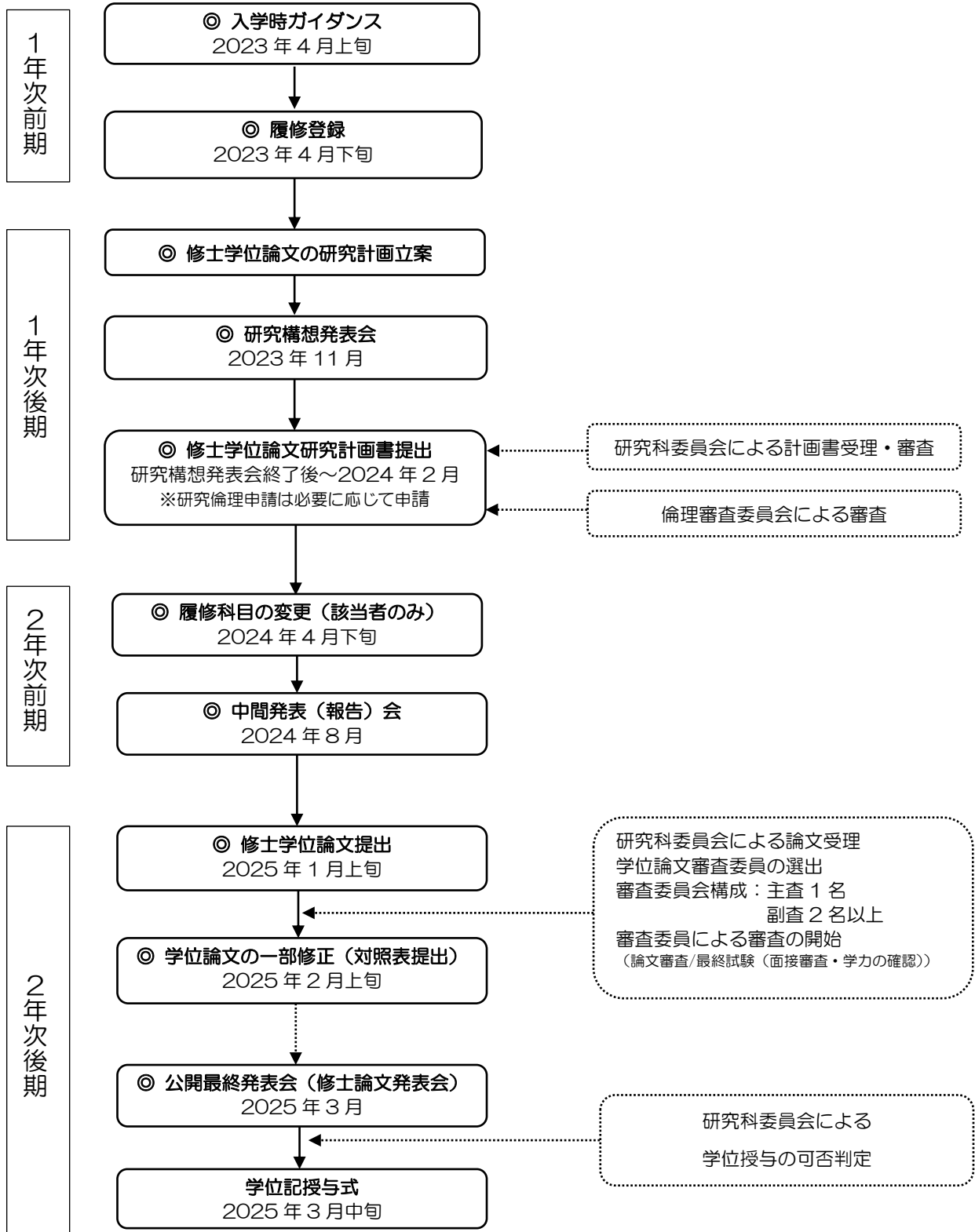
◎印：大学院生が申請・手続きを実施



※各年度における日程の詳細については、教務日程を参照すること

1. 修士学位取得までのプロセス

◎印：大学院生が申請・手続きを実施



※各年度における日程の詳細については、教務日程を参照すること

2. 修了要件・履修方法・成績評価基準

■修了要件

医療技術科学研究科修士課程の修了は、原則として、2年以上在学し、所定の授業科目について30単位以上を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、学位論文の審査および最終試験に合格した者について認定します。

■履修方法

区 分	臨床検査学専攻 修士課程		
	科目区分	修了に必要な修得単位数	備 考
必 修	共通科目	10単位	
	研究指導	12単位	
選 択	応用特色科目	4単位以上	
	専門科目	4単位以上(*)	
合 計		30単位以上	

*：「専門科目」については、7つの専門分野のうち、同じ専門分野である特論と演習を必ず含む4単位以上であること。

■成績評価基準

北海道医療大学大学院学則第18条第1項に規定する履修授業科目の単位認定は、筆記もしくは口頭試験または研究報告によるものとし、同第18条第2項に規定する優、良、可及び不可の評価基準は以下のとおりとします。

評 価	評 点	内 容	合 否	修得・未修得
優	80～100点	学修目標を十分に達成している。	合格	修得
良	70～79点	学修目標を達成している。	合格	修得
可	60～69点	学修目標を最低限達成している。	合格	修得
不可	60点未満	学修目標を達成していない。	不合格	未修得

各授業科目において履修者に求められる学修目標および評価方法については、シラバスに記載するほか、最初の授業の冒頭などで担当教員から説明があります。

3. 学位授与の判定基準および学位論文の評価基準

本学大学院医療技術科学研究科では、次の判定基準に基づいて修士の学位審査を行い、適当と認められる者に対して、修士（臨床検査学）の学位を授与します。

■学位授与の判定基準

1. 修士の学位を受ける者は、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、臨床検査に携わる高度専門職業人としての高度な専門性及び幅広い学識、倫理観を持って指導的役割を担うリーダーとしての能力を有していること、さらに保健・医療や社会の動向に目を向け、自己研鑽に務め、自ら成長できる能力を有していること。
2. 修士論文は次に定める「学位論文の評価基準」を満たしていること。
3. 修士の学位を受ける者は、学位論文審査委員会及び発表会で学術研究に相応しい研究発表を行い、質疑に対し論理的、かつ、明解に応答すること。

■学位論文の評価基準

1. 本学が定める研究倫理教育を修了し、研究倫理面の配慮が十分、かつ、適切になされている。
2. 臨床検査学領域における修士として十分な知識を修得し、問題を的確に把握し、解明する能力を身に付けている。
3. 研究テーマの設定が学位に対して妥当なものであり、論文作成にあたっての問題意識が明確である。
4. 論文の記述（本文、図、表、引用など）が十分、かつ、適切であり、結論に至るまでの首尾一貫した論理構成になっている。
5. 設定したテーマの研究に際して、適切な研究方法、調査・実験方法、あるいは論証方法を採用し、それに則って具体的な分析・考察がなされている。
6. 当該研究領域の理論的見地又は実証的見地から見て、独自の価値を有するものとなっている。

4. 履修登録

■履修登録（1年次）

修士課程2年間で履修する科目の履修登録は、1年次に一括して行います。

指導教員と十分に相談の上、入学年度当初に修士課程修了のための全体的な研究計画を立て、専攻分野の論文作成等に必要な科目の履修登録を指定の期日までに行ってください。

【「履修届」 提出締切日】：4月下旬（日時の詳細は別途指定）

【提出先】：医療技術学課

※「履修届」には、指導教員の承認(署名・捺印)が必要です。

■履修科目の変更（2年次）

前年度までの単位修得状況を踏まえ、必要に応じて、1年次に履修登録した科目を変更することができます。

指導教員と十分に相談の上、指定の期日までに履修変更届を提出してください。

ただし、科目の追加登録については、講義開講日程の関係上、希望が受け入れられない場合があります。

【「履修変更届」 提出締切日】：4月下旬（日時の詳細は別途指定）

【提出先】：医療技術学課

※「履修変更届」には、**指導教員の承認（署名・捺印）**が必要です。

5. 研究構想発表会

研究テーマおよび研究計画の設定に関する中間発表として、1年次の11月（予定）に「研究構想発表会」を実施します。

■修士学位論文研究計画書の提出および審査

研究構想発表会終了後、「修士学位論文研究計画書」を提出していただきます。

修士論文研究計画書は、研究構想発表会終了後から随時受け付けますが、1年次の2月（提出期日は別途案内）までに「修士学位論文研究計画書」（指定様式）により、医療技術学課へ提出してください。

[期 限] 研究構想発表会終了後～2024年2月（日時の詳細は別途指定）

[内 容] 研究テーマおよび研究課題（動機、背景、研究方法などを含む）の設定に関する報告とその審査

※「修士学位論文研究計画書」には、**指導教員の承認（署名・捺印）**が必要です。

なお、実施の詳細については、別途お知らせします。

6. 中間発表（報告）会【修士2年以上】

）

➡ 後日配布

1 1. 修士学位論文研究構想発表【修士2年以上】

1 2. 研究倫理の遵守

研究活動における不正行為は、研究活動とその成果発表の本質に反するものであり、科学そのものに対する背信行為となります。各自、十分に留意し、研究活動を行ってください。

また、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」をはじめとした研究倫理指針などについても十分に理解し、適切な研究活動を行ってください。

[参 考]

- ・「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」(文部科学省)
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/26/08/1351568.htm
- ・「研究に関する指針について」(厚生労働省)
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/kenkyujigyou/i-kenkyu/index.html>
- ・北海道医療大学研究倫理規程
- ・北海道医療大学研究倫理指針
- ・医療技術学倫理審査委員会内規

13. 長期履修制度

長期履修制度とは、学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり、計画的な履修を認める制度で、仕事などとの両立を図りながら修了を目指すことができます。

1. 対象者

有職者(正規職員以外も含み、主としてその収入で生計を立てている者) 出産、育児、介護、その他のやむを得ない事情により、フルタイム学生としての修学が困難な事情があることを要件とします。

2. 長期履修期間及び在学可能期間

	標準修業年限	長期履修期間	在学可能期間
修士課程	2年	3年または4年	4年(標準修業年限2年×2)

*在学可能期間の範囲内で、1年単位で長期履修期間を定めることができます。

*休学の期間は、上記期間に含まれません。

*長期履修の有無にかかわらず、在学可能期間内に修了することができない場合には除籍の対象となります。

3. 授業料

標準修業年限分の授業料に相当する額を、次の計算式により、長期履修期間に応じて分割納付します。

$$\text{授業料年額} = \text{当該研究科の授業料年額} \times \text{標準修業年限} \div \text{許可された長期履修期間の年数}$$

長期履修期間の変更(短縮又は延長)を認められた場合の授業料の年額は、次の計算式によります。

$$\text{授業料年額} = \text{当該研究科の授業料年額} \times \text{標準修業年限} \div \text{許可された長期履修期間の年数}$$

$$\text{授業料年額} = (\text{当該研究科の授業料年額} \times \text{標準修業年限} - \text{すでに納入した授業料の総額}) \div \text{変更後の長期履修期間の年数}$$

4. 手続き

- ・申請手続き：長期履修制度を利用する学生は、指導教員に相談の上、「長期履修申請書」（様式第1号）に必要事項を記入して、「指導教員の意見」と「署名」を得た上で、医療技術学課へ提出してください。
- ・変更手続き：長期履修を認められた学生が、長期履修期間を短縮または延長、もしくは長期履修を取り止める場合は、「長期履修（期間短縮・延長・取り止め）申請書」（様式第2号）に必要事項を記入して、「指導教員の意見」と「署名」を得た上で、医療技術学課へ提出してください。

なお、詳細については、「北海道医療大学長期履修規程」を参照してください。

14. ティーチング・アシスタント（TA）

本学大学院生からの申請に基づき、下記にしたがってティーチング・アシスタント（TA）を採用します。

ただし、不採用となる場合もあります。

[対象者] 医療技術科学研究科修士課程の在学生（休学者は対象外）とする。

[採用期間] 4月1日～翌年2月末までの期間内の採用とする。
※申請期間は、毎年度4月とする。
※入学より2年を経過する者は申請することができない。ただし、休学期間は経過期間に算入しない。
※9月学位授与となる者は、8月末までの採用期間とする。

[業務内容] 主として、各学部等の講義・実習（実験）・演習等の授業の補助業務に従事する。

なお、必要のある場合、上記のほかに授業実施に関連する前準備・後始末等の業務および指導教員が命ずる業務（授業外業務）を担当する。

[勤務時間] 以下のとおり定める。
・1日の勤務時間（拘束時間）は、8時間以内とする。
・1週間の合計勤務時間数は、16時間以内とし、1か月間の合計勤務時間数は40時間を超えることはできない。

[手当] 以下のとおりとする。
・1時間当たり1,200円（時間給）とし、原則として翌月25日に支給する。
・年間の支給上限額は、別途定める。

なお、申請手続きの詳細については、別途お知らせします。